

内分泌・糖尿病内科

1. 内分泌・糖尿病内科の理念・特色

理念：診療にあたっては下記の点を重要視している。

- ・病態にあわせた適切な治療方法の選択
- ・血糖変動に配慮したきめ細やかな診療
- ・糖尿病および合併症の早期診断と早期治療介入
- ・健康寿命と生活の質を考えた全人的かつ総合的な診療
- ・多職種共同で取り組む自己効力感の醸成と自己管理行動の支援
- ・地域・家庭・職場における重症化予防
- ・地域で取り組む糖尿病重症化予防

当院の立地する地域には、未だ適切な治療や指導を受けられずに管理不良の状態の方々が多くおられるため、患者診療に熱心に取り組むことで地域医療に貢献していることが実感されるやりがいのある環境である。若手医師の臨床研修の場として最適の環境と考えている。

特色：公立豊岡病院は地域の診療中核拠点であるため、多様な症例が豊富に集まることがその特色である。糖尿病に関しては研修中に、

1型糖尿病、2型糖尿病、その他特定の機序・疾患によるもの、妊娠糖尿病の各症例を経験できる。

また、高血糖・低血糖など救急症例、手術症例や合併症・併存症を有する症例が多く、幅広い症例を研修可能である。

さらに、妊婦、小児から、働き盛り、高齢者、在宅、終末期まで、ライフステージにあわせた管理が経験できる。

内分泌に関しては、下垂体疾患、甲状腺疾患、副腎疾患などの診療を通じて幅広い研修ができる。

2. 目標・プログラム

ア. 目標とする医師像

当科での研修において目標とする医師像は下記のとおりである

- ・個々人の病態、合併症、ライフスタイル、健康信念、サポート状況の把握に基づききめ細やかな診療ができる医師
- ・患者個人を取り巻く家族・社会・職場・地域・利用できる医療資源を含めた最適な治療方法を考案できる医師
- ・将来のリスク予測に基づいて早期予防・治療介入ができる医師
- ・患者を中心とした多職種チーム医療連携のリーダーとなれる医師
- ・診療、指導、研究、啓発を通じて自身も成長していける人間力を備えた医師

イ. 経験できる診療、技術

診療は、糖尿病、内分泌、肥満、高血圧、脂質異常症の専門診療を行っている。その内容は下記のとおりである。

糖尿病

糖尿病診療に関しては、専門治療を行うとともに、早期の診断と治療により糖尿病合併症発症予防や進展阻止に努めている。糖尿病教育入院コースをクリニカル・パスに沿って行い、血糖コントロール改善と共に、合併症の積極的検索を行っている。また、食事負荷試験やグルカゴン負荷試験などからインスリン分泌能とインスリン抵抗性の病態を診断し、病態にあわせた適切な治療選択に努めている。1型糖尿病においては、必要に応じて24時間血糖モニタリングによる食後高血糖、夜間低血糖、暁現象やソモジー効果の判定を行いより血糖変動に配慮したきめ細やかな診療を心がけている。必要な場合はインスリンポンプを導入している。また、妊娠糖尿病についても産科と連携して治療をしている。

内分泌疾患

甲状腺については、バセドウ病、破壊性甲状腺炎、橋本病などの診療をしている。結節性病変に対しては甲状腺エコーの結果により、耳鼻科紹介または甲状腺専門病院と連携して診療を行っている。副腎については、クッシング症候群、アジソン病、原発性アルドステロン症などの診療を行っている。必要な場合は放射線科と連携して副腎静脈サンプリングを行い、また、副腎偶発腫瘍に関しても泌尿器科と連携して診療をしている。

肥満症

2次性の精査とともに肥満に伴う考え方の“ずれ”と日常生活の“くせ”を明らかにして自己管理行動に結びつけるべく多職種での指導を行っている。また、糖尿病合併患者に対しては肥満を助長させない糖尿病薬の選択と低血糖の早期発見・予防を中心に診療している。うつ病や双

極性障害など精神心理的側面が基礎にある場合には適宜精神科と協調して診療を進めている。また、睡眠時無呼吸症候群においても神経内科、呼吸器内科と連携して診療している。

高血圧

難治性高血圧や2次性高血圧の診断と治療を行っている。また、塩分やカロリー摂取推定量に基づいて減塩や肥満の解消など生活習慣指導を強化している。

脂質異常症

高コレステロール血症や高中性脂肪血症に関して診療している。動脈硬化・ハイリスクの原発性高脂血症患者の診療を行っている。

他科・他職種連携

総合診療科・眼科・循環器内科・神経内科・胸部・心臓血管外科・皮膚科・歯科口腔外科・精神科等と協力して、糖尿病網膜症、腎症、神経障害、壊疽、歯周病などの糖尿病合併症や、虚血性心疾患、脳血管障害、末梢動脈閉塞症などの動脈硬化性疾患に対して、全人的かつ総合的な診療を心がけている。また、看護師・栄養士・薬剤師・検査技師など多職種のチームによる自己管理行動の継続的サポートや活気ある糖尿病教室を企画している。

糖尿病地域連携

糖尿病は地域で診療することが重要でありすべての糖尿病患者さんにかかりつけ医をもっていただき地域病診連携で診療することを目指している。また、医師会や行政と連携して地域における糖尿病発症および重症化予防のための連携体制構築に努力している。

3. 週間予定

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日/日曜日
午前	外来・入院 *他科カンファレンス	外来・入院・初診 診察・他科コンサルト	外来・入院・周術期 血糖管理	外来・入院・初診 診察・他科コンサルト	外来・入院 \$健診・地域医療	
午後	講義 (内分泌・糖尿病・高血圧・脂質異常症・肥満)	教育入院症例多職種 カンファレンス	・症例 ・臨床研究 ・内科合同 カンファレンス	教育入院症例多職種 カンファレンス	糖尿病透析予防外来 総合診療科合同 カンファレンス	

*: 関連症例を受け持っている場合

\$: 希望者のみ

4. 指導医・スタッフ

病院長 つねなり とおる
補佐 恒成 徹

部長 きしもと いらろう
岸本 一郎

出身 神戸大学 S54
神戸大学医学博士 H3

出身 京都大学 S63
京都大学医学博士 H6

専門	内分泌代謝
認定	日本内科学会総合内科専門医、日本医師会認定産業医、日本内分泌学会内分泌代謝科専門医、日本プライマリ・ケア連合学会認定暫定指導医、臨床研修指導医

専門	糖尿病、内分泌、高血圧
認定	日本糖尿病学会専門医・指導医、日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本高血圧学会専門医・指導医、日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医、日本循環器学会専門医、臨床研修指導医

5. 診療設備・診療方法等

- ・ 超音波検査(頸動脈、甲状腺、心臓、下肢血管)
- ・ 核医学検査(甲状腺、副腎)
- ・ X線CT、MRI検査
- ・ 骨塩定量(DXA)
- ・ 持続血糖モニタリング
- ・ 持続インスリン皮下注入療法
- ・ 糖尿病透析予防外来
- ・ 教育入院クリティカルパス など

6. 診療実績

糖尿病患者数 約 1,500 名

初診患者数 10 名/週 程度

外来患者数 200 名/週 程度

高血糖・低血糖緊急症例 数名/週

新規妊娠糖尿病 数名/週

SAP 症例 数名

持続血糖モニタリング症例 数名/週

内分泌初診 数名/週

周術期血糖管理 数名/週

7. 学会認定施設

内科学会認定教育施設

糖尿病学会認定教育施設 I

高血圧学会認定教育施設

